

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

## 令和5年度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじんこくさいぶんかこうりゅう そくしんきょうかいのていべいと		団体ウェブサイトURL
	特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カル ティベート		<a href="https://www.npo-cultivate.org/">https://www.npo-cultivate.org/</a>
代表者職・氏名	代表理事 堅田 政明		
制作団体所在地	〒 227-0062	最寄り駅(バス停)	東急電鉄田園都市線青葉台駅
	神奈川県横浜市青葉区青葉台2-6-15 ベルグレイス青葉台607		
電話番号	045-516-6515		
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじんえんげきくらぶ『ざ』		団体ウェブサイトURL
	特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』		<a href="https://za01.com/">https://za01.com/</a>
代表者職・氏名	理事 壤 晴彦 (松本 敬通)		
公演団体所在地	〒 160-0022	最寄り駅(バス停)	東営地下鉄新宿三丁目駅
	東京都新宿区新宿5-9-11 アルメリア新宿1F		
制作団体 設立年月	平成23年12月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事/堅田 政明 理事/谷口 修 理事/岩上精男 監事/長谷川 茂	代表理事(1名)⇒理事(2名)⇒事務局(3名) 理事会 ⇒ 運営委員会 企画部門 - プロジェクトチームを編成 (制作、演出、スタッフ、キャスト、ダンサー他) ※巡回公演出演ダンサーの一部は採択次年度以降、順次公演実施 ブロック・地域対象のオーディションを行い決定しています。	
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担 当者を置く	本事業担当者名	堅田政明
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	堅田浩巳

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>■平成23年10月法人認証(神奈川県横浜市)          ・平成24年1月横浜・地区センター自主事業/ヒップホップダンス教室事業支援          ■平成25年12月平成26年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」募集          ・講師派遣事業13校採択(神奈川県立横浜南養護学校他          ■平成27年5～6月平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」採択          ・学校巡回公演実施:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          【福島県他小中学校(含養護学校)計18校実施済】          以後、平成27年度から令和3年度にわたり文化庁巡回公演事業:現代舞踊「ヒップホップダンス(ストリートダンス)」分野で唯一制作・公演する団体として又、同じく文化庁事業の芸術家派遣事業やコミュニケーション能力向上事業、ユニバーサル公演事業等々に於いても活動領域を広げ地域的、学校種別的にも幅広く活動し、多数の学校現場(令和3年度は117校程:多年度採択・実施)で高い評価を得ている。又令和4年度では本巡回公演に於いて認定NPO法人と連携し、神奈川県から東海地域に於いて巡回公演(9校:22公演)を行っている。          特に、日本文化に関する活動に於いても今回の申請だけではなく、法人設立当初から約4年間で文化庁の芸術家派遣事業に於いて、          統文化分野の邦楽(有用無形文化財保有の常磐津奏者:高校10校) ■伝          ■ 邦舞(西川派)及び和装による立振る舞い:中学校5校・高校6校)          等々と幅広く取組み活動を行ってきており、          各地・各所で学校に於ける文化芸術の振興・推進に取り組んできています。 この様な経緯と背景から令和5年度は制作団体として特に本公演の実施に鋭意取り組ませて頂きます。</p>
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>現代舞踊:制作公演団体としては以下、          ■学校公演実績(文化庁事業)          1) 平成27年 5～6月 平成27年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」          学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          福島県他小中学校(含養護学校) 計21校実施          2) 平成28年 5～6月 平成28年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」          学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          宮城県・青森県・北海道他小中学校 計17校実施          3) 平成29年 5～7月 平成29年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」          学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          京都府/市・福井県・石川県・富山県・新潟県/市 計14校実施          4) 平成30年 5～7月 平成30年度文化庁「文化芸術による子供の育成事業」          学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          神奈川県・静岡県・愛知県・岐阜県・横浜市・相模原市・名古屋市 計21校実施          5) 令和元年5月～7月          学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          岡山県・広島県・山口県・岡山市・広島市 計14校実施          6) 令和2年10月～令和3年3月          学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          東京・千葉・茨城・山梨・千葉市 計26校実施          7) 令和3年10月～11月学校巡回公演:演目現代舞踊「これがヒップホップダンス！」          三重県 滋賀県 大阪府 奈良県 和歌山県 / 大阪市・堺市 計26校実施 8)          令和4年6月及び10月          兵庫・四国4県・及び神戸市 公演実施中 更          に、当該公演団体と連携協力し令和4年度には神奈川・東海地域の各校で公演を実現し学校並びに児童からも高評価を得ることができた。          ・松田町立寄小学校          ・羽島市立桑原学園          ・御前崎市立浜岡北小学校          ・瀬戸市立長根小学校          ・岩倉市立岩倉北小学校          ・半田市立板山小学校          ・安城市立明和小学校          ・横浜市立丸山台小学校          ・横浜市立東希望が丘小学校          ・相模原市立川尻小学校          ○000年『りゅうの目のなみだ』(気仙沼市立新月中学校)          ○2004年『賢治アラベスク』(筑波大学附属高校)          ○2006年『鶴八鶴次郎』(法政大学)          ○2008年『野菊の墓』(西武文理学園中等部)          ○2021年『野菊の墓』(愛媛県立松山北高等学校)</p>

<b>特別支援学校等における公演実績</b>	※現代舞踊分野では多数地域の特別支援学校で多くの公演を行いました。演劇分野でもご希望により公演を実施したいと考えています。			
<b>参考資料の有無</b>	※申請する演目のWEB公開資料	有		
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/5uMnYXHAzqc">https://youtu.be/5uMnYXHAzqc</a>		
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	なし	
		PW:	//	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	邦楽器・生演奏とのコラボで観る『浜田広介童話集』			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	作: 浜田広介 <b>動物三部作</b> 「ある島のきつね」「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」 構成・演出: 壤 晴彦 振付: 林 千永 (日本舞踊林流千永派家元) 音楽・生演奏: 木村 俊介 (三味線・笛・太鼓・琴・等)			公演時間 60 分
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名	許諾確認状況	採択後手続き予定
演目概要	<p>「動物三部作」の主人公は人間ではありません。「きつね」と「おに」と「りゅう」です。</p> <p>「きつね」は、人間に好意的に接し、          「赤おに」は鬼が人間に嫌われていることを知りながら、人間と友達になりたいと思い、          「りゅう」は何も害をしない自分を悪者にする人間を深く恨み、山奥に籠っています。</p> <p>作品ごとに「差別」の重さ・深さが異なりますが、全ての物語に作者の「愛」が注がれ、それぞれ印象的な「結末」に至る素晴らしい作品集です。</p> <p>浜田広介の香り高い原文の全てをそのままに、「語り」のあるお芝居として、美しい邦楽生演奏と舞踊を織り交ぜて楽しんでいただけます。</p> <p>現代の子供たちには是非見て欲しい作品です。</p>			
演目選択理由	<p>古来、日本人の心情の際立った特徴は「弱いものへのいたわり」と言ってよいでしょう。          浜田広介作の『動物三部作』は、人間ではない「生きもの」たちを主人公に、世の中の「差別問題」を分かりやすく説いた「傑作」です。</p> <p>現代・社会や組織、そして学校などでの「差別」や「いじめ」は看過できない社会問題であり、幼少年期にこの作品に触れて心震える体験は、必ずや子供たちの心に「思いやり」「優しさ」「いたわり」という『他者への理解と寛容』と『自省心』を根付かせるものと信じます。</p>			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>古来、日本人の心情の際立った特徴は「弱いものへのいたわり」と言ってよいでしょう。          浜田広介作の『動物三部作』は、人間ではない「生きもの」たちを主人公に、世の中の「差別問題」を分かりやすく説いた「傑作」です。</p> <p>現代・社会や組織、そして学校などでの「差別」や「いじめ」は看過できない社会問題であり、幼少年期にこの作品に触れて心震える体験は、必ずや子供たちの心に「思いやり」「優しさ」「いたわり」という『他者への理解と寛容』と『自省心』を根付かせるものと信じます。</p>			
出演者	俳優14名 壤晴彦・森一馬・奥村棗・金子三輪郎・久瀬秋一・中庭鳳志・河原崎貴光・今泉龍忍・山本航輝 景山仁美・相澤まどか・平野夏那子・上路りさ 生演奏(三味線・笛・太鼓等)1名 木村俊介			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 14 名	運搬	積載量: 3 t	
	スタッフ: 10 名		車長: 4.7 m	
	合計: 24 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		有	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～13時 (リハーサル含む)		14時～15時		0分	15時～17時
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	20日	10日	5日	15日	15日		
	11月	12月	1月	計	105日		
	15日	15日	10日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。							
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安		特に共演場面は設けていません	
				鑑賞人数目安		300	

### 【各話あらすじ】

#### \*ある島のきつね

ある島のお寺の裏山に住むきつねが、いつものようにお寺に遊びに来ますと、目と耳の不自由なお婆さんがやって来て、きつねを和尚さんと思い込み、「お爺さんの命日なのでお経をあげてください」と頼むのです。

和尚さんは留守なので、きつねは仕方なく和尚さんの袈裟を借りて身に纏い、木魚を打ちながら「コンコン」とお経の真似事をしてあげます。そしてお婆さんを玄関まで送った後、お布施には目もくれず、仏壇の前に供えてあったお饅頭をくわえて山に帰っていくのです。



#### \*泣いた赤おに

人間と友達になりたいと思っている赤おにが、家の前に立て札を立てます。「心の優しいおにの家です。どうぞ遊びに来てください」この立て札を見た木こりが仲間を連れてこわごわ覗きにきますが、「騙して食うつもりじゃないか」なんて話し合っているのです、赤おにが思わず顔を出すと2人は逃げてしまいます。

がっかりした赤おにのところに、遠い山から雲に乗って友達の青おにが訪ねて来ます。話を聞いた青おにには赤おにのためにある計画を立てます。「自分が村で乱暴をするから、君が僕をやっつけるんだ。そうすればみんなは君を『良いおに』だと思おうだろう」。赤おにには気が進みませんが、青おにに説得されてその計画に乗ってしまいます。結果、村の人たちと仲良くなって楽しく日々を送りますが、それ以来姿を見せない青おにのことが気になり、ある日彼の家を訪ねますと・・・。



#### \*りゅうの目のなみだ

ある村の向こうの山奥に「りゅう」が住んでいるという噂があり、人々はりゅうを恐れていました。その村に変わった子供がいて、りゅうを怖がらず進んでりゅうの話を聞きたがるのです。この子のことも人々の噂になりました。お母さんが心配して嘸めても、その子は「りゅうがかわいそう」「僕の誕生日にりゅうを呼びたい」

などと言い出し、お母さんに叱られます。ある日その子は決心して、一人でりゅうに会うために山に入って行きます。

子供が一人で山奥に来たことを訝るりゅうですが、「僕の誕生日に来て欲しい」「誰かが意地悪したら僕が守ってあげる」という言葉に固く閉ざされた心が解けて・・・。



公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。

【公演団体名 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	300名程度まで
<b>ワークショップ 実施形態及び内容</b>	<p>私どもの劇団は「美しい日本語を語る」ことを大切に考えておりますので、上演する劇中のセリフを使いながら「からだ全体を使って声を出す」「分かりやすい発音」「意味を正しく伝える方法」をゲーム形式で練習します。  (いくつかに分けたグループにそれぞれ助手をつけて丁寧な指導を行います。)  本番で劇に参加する方法は、鑑賞しているその場から声を出すだけです。ワークショップでも練習をしますが、ワークショップを受けていない学年の生徒さんも全員参加できます。  危険回避のため、スタッフワークへの生徒さんの参加は考えておりません。</p>		
<b>ワークショップの ねらい</b>	<p>FBの評価欄(クチコミ)で常にトップランクのワークショップを子供たち向けに。  ことばを「正しく喋ろう」「分かりやすく喋ろう」「美しく喋ろう」と言うだけでは、子供たちはどうしてよいか分かりません。  身体や喉に力を入れたり口を大きく開いたりするのではなく、「身体全体を使った楽な呼吸と発声」をし、「文中の最重要な単語(イントネーションアクセント)」を見つけ、「ニュアンス」を込めて語る…この方法を分かりやすく説明し、一緒に試してみて、『ことばを扱う基本』を身につけて貰いたいと思っております。</p>		
<b>その他ワークショップに 関する特記事項等</b>	<p>特に支援学校等でのご希望の場合は本番について生徒さんの参加が不可能であれば、ぜひ先生方の参加をお願いいたします。  ワークショップについても、先生方との事前の打ち合わせをさせていただき、内容の検討を行いたいと思っております。</p>		



認定NPO法人

演劇倶楽部 座

邦楽器・生演奏とのコラボで観る『浜田広介童話集』



りゆうの目のなみだ

泣いた赤おに

ある島のきつね

浜田広介  
童話集

「文化芸術による子供育成総合事業 —巡回公演事業—」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。

事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。



文化庁

制作団体：特定非営利活動法人 国際文化交流促進協会 カルティベート  
公演団体：特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』